

キタコブシ

(学名: *Magnolia kobus* var. *borealis*)
[モクレン科 モクレン属]

只見町では、コブシと言うとキタコブシとタムシバの両方をさします。共にモクレン科のモクレン属に属しますが、里にコブシ、山にタムシバと言われるように、生育場所が異なります。キタコブシはコブシの変種で花や葉がコブシよりやや大きく、日本海側を中心に広く分布しています。また、キタコブシは、只見町の「町の花」にも指定されています。黒谷川の河岸段丘上に立つ町の天然記念物の大コブシは、幹周り2メートル30センチの巨木で、春先にかけて枝先に直径6～10センチ、6枚の花弁を持つ純白色の花を沢山咲かせます。只見の里に春を告げる木の花の一つです。



企画展示

- 「只見町の巨樹・巨木」展
只見町の巨樹や巨木をパネル展示で紹介いたします。
期 間：4月15日(月)まで
- 「あがりこの生態と人々の関わり」
期 間：4月27日(土)～7月22日(月)まで

詳しくは、
只見町プラナセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



虫歯のない子 (3月12日) (3歳児健診)



さかい ゆたか
酒井 優くん(小林)



やまうち しょうだい
山内 丈大くん(梁取)



さいとう ねね
齋藤 寧々さん(亀岡)



ふなき そうま
舟木 爽真くん(布沢)



めぐろ じゅんのすけ
目黒 純乃介くん(塩ノ岐)